

当金庫の金融仲介機能発揮に向けた取組みについて

～金融仲介機能のベンチマークの公表（平成29年3月末基準）～

ひまわり信用金庫

1. 金融仲介機能発揮に向けた取組み

当金庫では、地元の皆さまとともに地元の発展に貢献し、「豊でゆとりのある市民生活づくり」と「個性的で成長力の高い企業づくり」を応援することを使命とし、最高のサービスと信頼を提供し続けることによって、豊かなふるさと「いわき」の創造に貢献することを経営理念に、心のふれあいNo.1（地域の人々から親しまれ、地域貢献度No.1の信用金庫をめざす）、お客様満足度No.1（きめ細かな情報提供、提案で利用価値No.1の信用金庫をめざす）、人材の豊かさNo.1（風通しのよい明るい風土と人材育成No.1の信用金庫をめざす）を経営方針として取り組んでおります。

2. 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況（平成28年4月～平成29年3月）

地域密着型金融の推進につきましては、平成28年度も着実な成果を上げることができました。

当金庫は、これらの取組みを積極的に推進することが地域金融機関として果たすべき責務と認識しており、今後とも地域の皆さまの生活および経済活動の再建・復興への支援に全力で取り組んでまいります。

なお、「中小企業金融円滑化法」は、平成25年3月をもって終了となりましたが、当金庫では、融資条件の変更等のご要望に対し、引き続き、きめ細やかな対応を行ってまいります。

- 課題解決の取組み強化
- 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み
- 経営改善支援の取組み実績

3. 「金融仲介機能のベンチマーク」の公表

当金庫の取組みに対する客観的な指標として、「金融仲介機能のベンチマーク（金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標）」を活用し、金融仲介機能の質の向上に努め、お客さまのニーズや課題解決につながる融資支援・本業支援を積極的に進めてまいります。

当金庫は、「金融仲介機能のベンチマーク」の指標を以下のとおり公表するとともに、同指標を最大限に活用することで、引き続きお客さまの本業支援・経営改善支援に積極的に取り組んでまいります。

- (1) 取引先企業の経営改善や成長力の強化状況について
- (2) 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上について

①当金庫が貸付条件変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

②当金庫が関与した創業、第二創業の支援件数

1. 金融仲介機能発揮に向けた取組み

ひまわり信用金庫 『ひまわりスクラム強化3か年計画』～独自性発揮による地域の成長と価値創生をめざして～
「平成27年4月から平成30年3月まで」(3か年)

計画理念

果敢に挑戦していく決意のもと、信用金庫の独自性・特性を活かしながら、お客さまや地域の復興・成長・発展等に資する取組みを推進していくことにより、当金庫の存在意義を高めて、地域社会において必要とされる金融機関であり続けることをめざす。

基本方針

(1) 支援力・営業基盤の強化

独自性・統制を活かした取組みを通じて、主体的に地域内の様々な課題を解決していくことにより、頼れる金融機関として、存在感を高めていく。

(2) 経営力・内部態勢の強化

経営の透明性の向上、経営の健全性の確保、内部管理態勢の整備等を図っていくことにより、安心できる金融機関として、信頼度を高めていく。

(3) 組織力・人材力の強化

知識・ノウハウ等を共有化することにより人材の育成を図るほか、生き生きと働くことができる組織風土を醸成していくことにより、相談しやすい金融機関として、好感度を高めていく。

(4) つなぐ力・総合力の強化

信用金庫の持つ「つなぐ力」の発揮、業界の総合力の発揮に努めていくことにより、地域との共生をめざす金融機関として、地域との一体感を高めていく。

具体的方策

1. 支援力・営業基盤の強化

- (1) 課題解決の取組み強化
- (2) 成長支援等の取組みの推進

2. 経営力・内部態勢の強化

- (1) 透明性の向上
- (2) 健全性の確保

| | |
|---|---|
| (3) 特性の発揮 (4) イメージアップに向けた取組みの強化 | (3) 内部態勢の強化 |
| 3. 組織力・人材力の強化 (1) 人材の育成 (2) 人材を活かす職場環境づくり | 4. つなぐ力・総合力の強化 (1) つなぐ力の発揮 (2) 総合力の発揮 |

2. 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

■ 課題解決の取組み強化

○地域中小企業に対する情報仲介・発信機能の強化

地域金融機関のネットワークを活かし、「ビジネスマッチ 2016」（仙台）に当金庫取引先 6 社、「よい仕事おこしフェア」（東京）に 3 社が出店し、多数の商談が寄せられました。

○地方公共団体、大学等の地域関係機関との連携の強化

平成 28 年 11 月 21 日にいわき市と「地域活性化包括連携協定書」を締結しました。相互に協力することで、双方の資源を有効に活かした街づくり活動を推進し、東日本大震災からの復興、地域活性化、市民サービスの向上を図りながら、産業の振興、地域の安全・安心や子育て支援等の幅広い分野において、地域の持続的な寄与に取り組んでいます。

○地域創生に向けた取組み

地域創生に向けた取組みを支援するため、平 28 年 10 月 3 日から「地域創生支援ローン」の取り扱いを開始しました。平成 28 年度利用実績は、5 件 38 百万円となりました。

○地域関係機関との連携

福島県再生支援協議会との連携を強化し、資本金借入金（DDS、資本的劣後ローン）等を活用した企業再生支援に取り組んでおります。

○事業再生・拡大支援等コンサルティング機能の強化

取引先事業 77 先にひまわり信用金庫本部と営業店が連携してコンサルティングを実施しました。また、経営改善提案等の活動や、中小企業再生支援協議会を活用した再生計画の実施などにより、経営改善支援取組み先 35 先中、債務者区分のランクアップは、年間 3 先となりました。

■「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまから、借入や保証債務整理の相談を受けた際に、真摯に対応する態勢を整備しております。

また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて、十分に対応するなど、適切な対応に努めております。

(単位：件数、%)

| | 平成 28 年度 |
|---|----------|
| 新規に無担保で融資した件数 | 19 |
| 新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合 | 0.58% |
| 保証契約を解除した件数 | 0 |
| 経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る) | 0 |

■ 経営改善支援の取組み実績（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

（単位：先数）

（単位：%）

| | 期初 債務者数 | うち | | | | 経営改善支援 取組み率 | ランクアップ率 | 再生計画 策定率 | |
|--|------------|-----------------|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------|----------------|---------|-------------|--------|
| | | 経営改善支援 取組み先数 | Bのうち期末に 債務者区分が ランクアップ した先数 | Bのうち期末に 債務者区分が変 化しなかった先 数 | Bのうち再生計 画を作成してい る全ての先数 | | | | |
| | A | B | C | D | E | B/A | C/B | E/B | |
| 正常先 ① | 1,380 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 要注意先 | うち ② | 232 | 15 | 3 | 10 | 15 | 6.47% | 20.0% | 100.0% |
| | その他の要注意先 | | | | | | | | |
| | うち ③ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 要管理先 | | | | | | | | |
| 破綻懸念先 ④ | 56 | 20 | 0 | 20 | 19 | 35.7% | 0 | 95.0% | |
| 実質破綻先 ⑤ | 54 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 破綻先 ⑥ | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 小計 (②～⑥の計) | 355 | 35 | 3 | 30 | 34 | 9.86% | 8.57% | 97.1% | |
| 合計 | 1,735 | 35 | 3 | 30 | 34 | 2.02% | 8.57% | 97.1% | |
| <p>(注)・期初債務者数及び債務者区分は、平成 28 年 4 月当初時点で整理しております。</p> <p>・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業者を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含めておりません。</p> | | | | | | | | | |

- ・Cには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はBに含めるもののCに含めておりません。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が、期末に、債務者区分が「うちその他の要注意先」にランクアップした場合は、Cに含めております。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）、期初の債務者区分に従って整理しております。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については、本表に含めておりません。
- ・Dには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。
- ・みなし正常先については、正常先の債務者数に計上しております。
- ・「Bのうち再生計画を策定している全ての先数E」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」

3. 「金融仲介機能のベンチマーク」の公表

(1) 取引先企業の経営改善や成長力の強化状況について

当金庫をメインバンク（融資残高1位）として取引をいただいている企業数・融資残高及びメイン先のうち、経営指標（売上・営業利益率・労働生産性等）の改善や就業者数の増加が見られた先数

<共通ベンチマーク>（単位：先、億円）

| | 28/3 月期 | 29/3 月期 |
|--------------------|---------|---------|
| メイン先数 | 644 | 624 |
| 融資残高 | 404 | 383 |
| メイン先のうち経営指標等が改善した先 | — | — |

(2) 取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上について

①当金庫が貸付条件変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

<共通ベンチマーク>（単位：先、億円）

| | 28/3 月期 | 29/3 月期 |
|---------|---------|---------|
| 条件変更先総数 | 150 | 119 |
| うち、好調先 | 12 | 9 |
| うち、順調先 | 113 | 83 |
| うち、不調先 | 85 | 27 |

経営改善計画進捗判断は、売上高、当期利益の達成状況により、以下のとおり判断します。

好調：売上高・当期利益ともに120%超

順調：売上高・当期利益の何れかが80%～120%

不調：売上高・当期利益ともに80%未満

②当金庫が関与した創業、第二創業の支援件数

<共通ベンチマーク>（単位：件数）

| | 28/3 月期 | 29/3 月期 |
|--------|---------|---------|
| 創業件数 | 12 | 7 |
| 第二創業件数 | 0 | 0 |

当金庫が関与した創業、第二創業の件数とは、創業計画の策定支援、創業期取引先への融資等による支援を実施した件数を表示しております。

第二創業とは、既に事業を営んでいる企業の後継者等が新規事業を開始すること、抜本的な事業再生によって、企業が業種を変えて再建すること等をいいます。

以上